



巣立ちプロジェクトⅢ 2024

ゼロから学ぶ障害のある子ども・若者の
生と性



長崎県“人間と性”教育研究協議会
代表 中村 まり子
(開業助産師・レインボーさんばハウス 代表)



助産師 中村まり子の活動

- 長崎県島原半島の人口約12万5000人の地域で開業助産師として活動中
- 助産師として46年間出会った様々なケースに出会い、悩み、学びながら、すべての人々に豊かな性の学習を啓発しようと活動中
- 活動の輪を県内外にも広げ、「性教育の伝道師」として全国で活動中
- 個別指導の必要性を痛感し、2009年3月 相談所開設
「レインボーさんばハウス」
- 2018年 移転を機に助産所を開業(長崎県南島原市西有家町)
産後ケアの充実・相談所の安心・安全な環境化で相談対応実施
- 不登校・引きこもり支援、LGBTQの支援、自殺願望者の相談と支援、性暴力被害者支援、障がい者の性の支援、生理の貧困対策を実施中

長崎性教協の活動例

2018年11月 市民に呼びかけた**性暴力被害者支援講演会(定例会)**

2019年 7月 大学生等若者とランチしながら座談会

2021年 3月「**男子・男性の性を育てる**」申込230人、Zoom参加139人

2021年11月 会員の実践報告や発表検討全国まるっとセミナー発表

2023年 3月 **知的障がい・発達障がいへの理解と支援について**ミニセミナーを開催

2024年 3月 30回セミナー開催

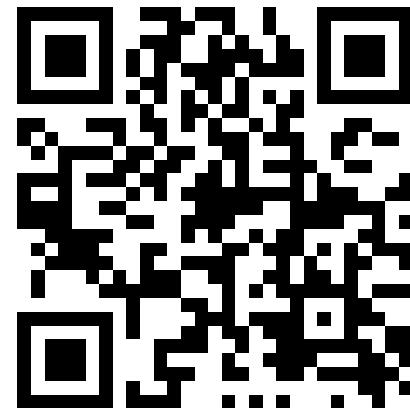
「0から学ぶ**障害のある子ども・若者のセクシュアリティ**」



① ホームページを活用した
科学と人権に照らし合わせて良質と思える性情報の発信

長崎県“人間と性”教育研究協議会のホームページ

<https://na-seikyokyo.jimdofree.com/>



HPのQRコード

長崎性教協の紹介や様々な性情報の発信に活用

ネットによる性の学び

- ①性の学習全般
- ②DV・デートDV
- ③－1 性暴力に対する支援先
- ④ネットの安全教育と相談先
- ⑤若者の性
- ⑥中・高校生の性
- ⑦男子・男性の性
- ⑧泌尿器科医の性教育
- ⑨月経（生理）
- ⑩中絶・流産・若年出産・養子縁組
- ⑪緊急避妊薬・ワクチン・フェムテック・避妊法
- ⑫子どもに伝える性
- ⑬幼児や小学生の性
- ⑭－1 おすすめ絵本
- ⑮－2 おすすめ絵本
- ⑯－3 おすすめ絵本
- ⑰多様な性
- ⑱ジエンダー
- ⑲親子・夫婦の関係・依存症・出産など
- ⑳障がい児・者の性

特に取り組む活動

これまでの活動

- 第一期 1980年

人間の根っこ作り

- 第二期 1988年

生涯の性・QOLとして学ぶ

- 第三期

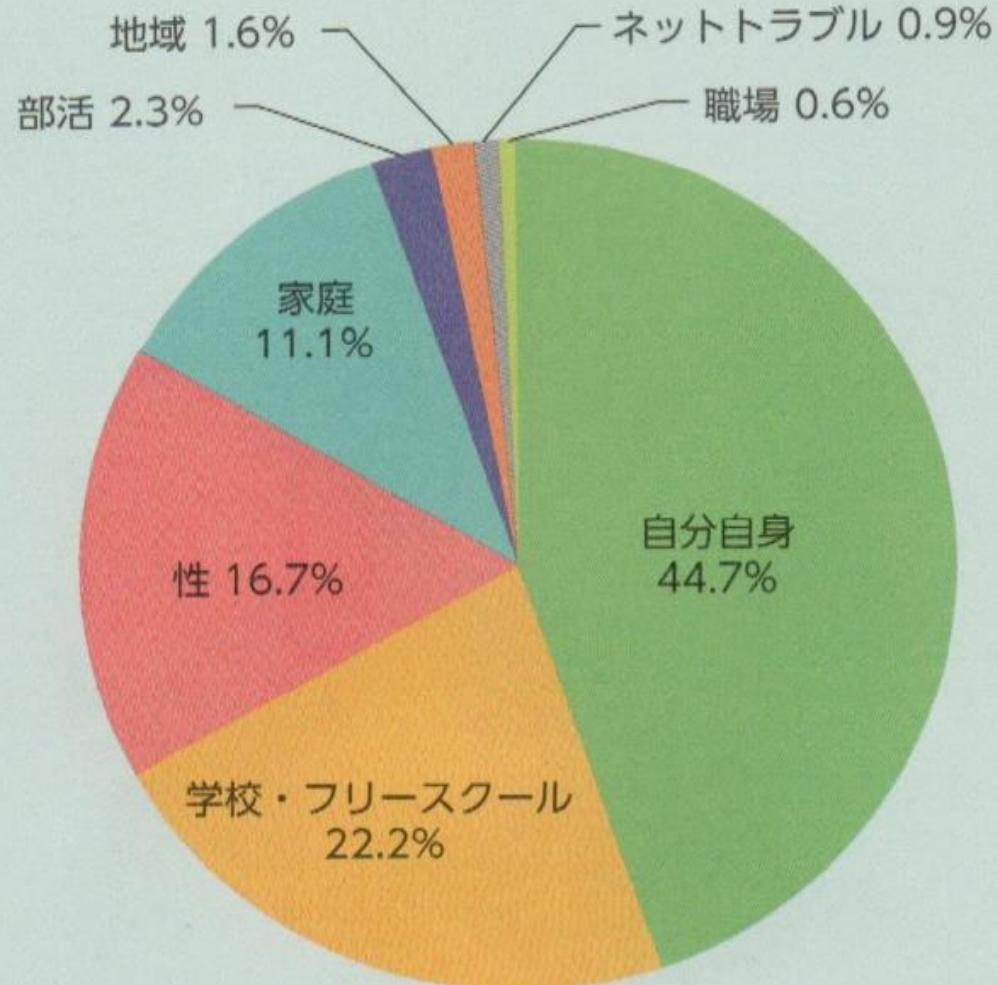
思春期の性 悲しみの性から豊かな性へ

ボンディングの必要性と普及

- 第四期

ハウス開所に至る=行政とのチーム作り

データから見える子どもの状況



大項目	件数	%
自分自身	22,390 件	44.7%
学校・フリースクール	11,100 件	22.2%
性	8,345 件	16.7%
家庭	5,580 件	11.1%
部活	1,129 件	2.3%
地域	780 件	1.6%
ネットトラブル	473 件	0.9%
職場	285 件	0.6%
合計	50,082 件	

全世代に向けた“性”の講演活動

● 幼児期向け

＜親子の絆を育みながら学ぼう＞

産後間もない親子に向け、ベビーマッサージを実施。

また、幼児期の成長に伴いプライベートパーソンの大切さやトイレットトレーニングなど、親子学びの場を提供。

ほか、幼児期に健全な親子関係を築くための学び（愛着とボンディング）を広めている。

幼児期～思春期の “性教育”がもたらす効果

愛情を持って育てられた子どもは自己肯定感が養われる。

それは大人になると自己決定ができる人間へと成長し、高いコミュニケーション能力や交渉力が備わることに繋がってゆく。

この時期の“性教育”は豊かに生き抜くために必要不可欠なこと。

私のライフステージを考える

おもしろいこと、たのしいこと、うれしいこと

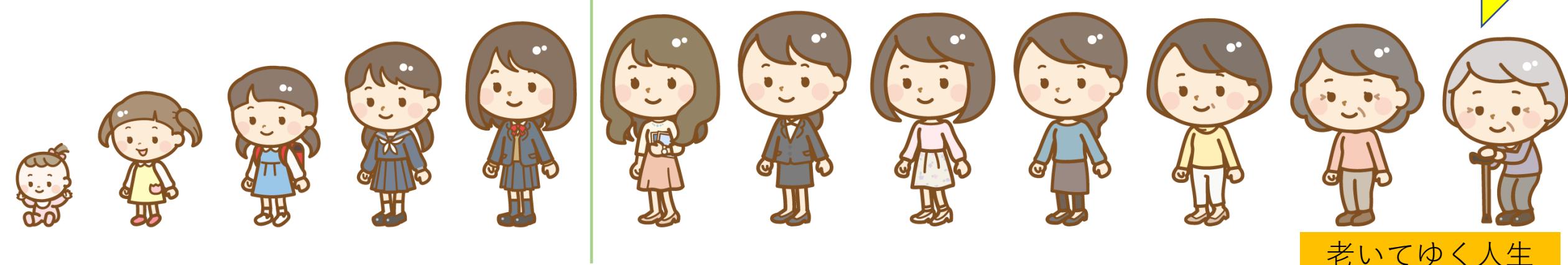
幼児 小学 中学 高校

成人 壮年

中年

成熟していく人
高年 生 老年

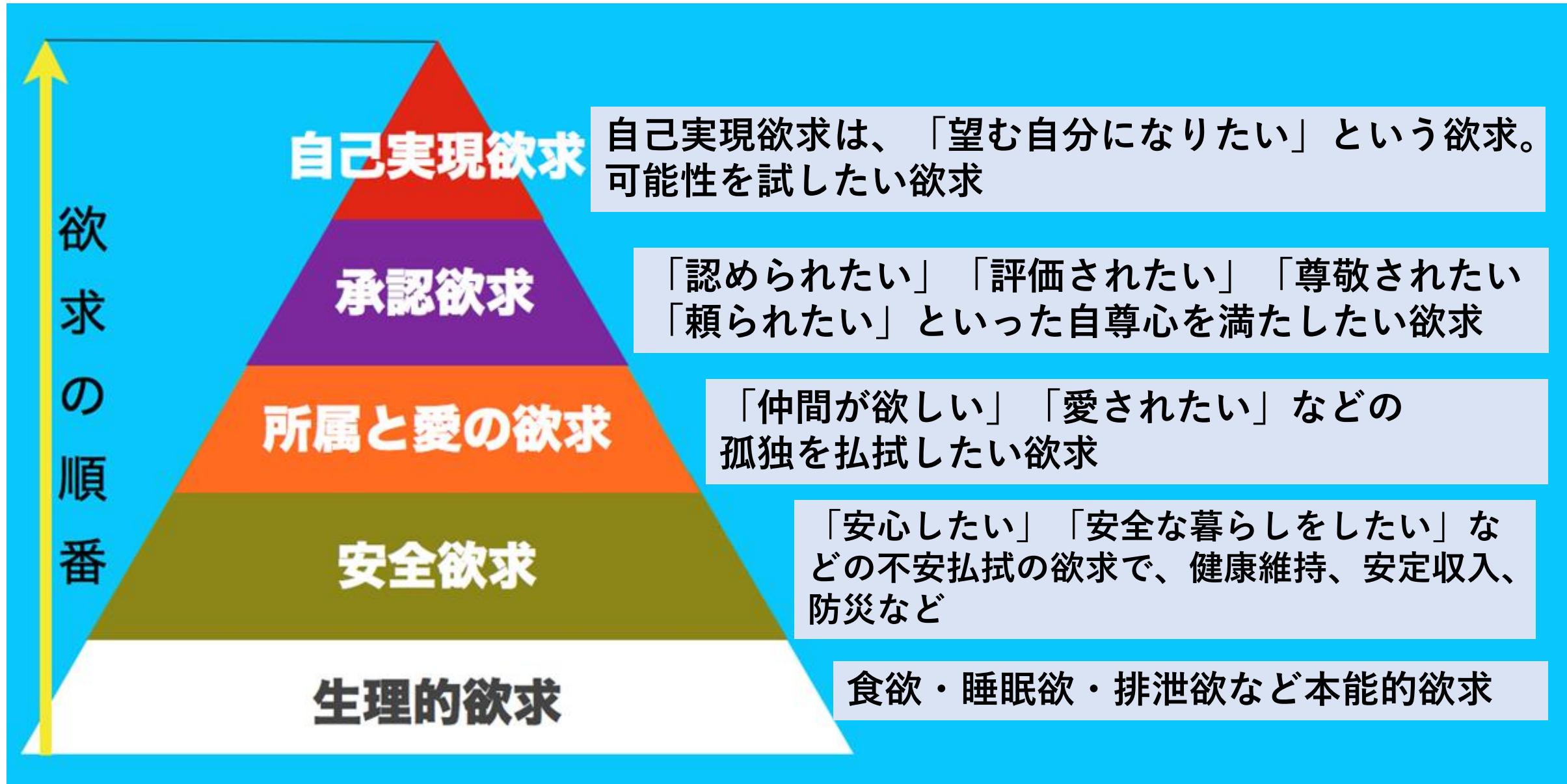
これまでの人生を振り返り、全てを受容し、自分なりに人生の意味をみつけられるか？



つらいこと、くるしいこと、かなしいこと

その年代の「性」を学ぶことで、つらいこと、くるしいこと、かなしいことを受容したり、ステップアップができる

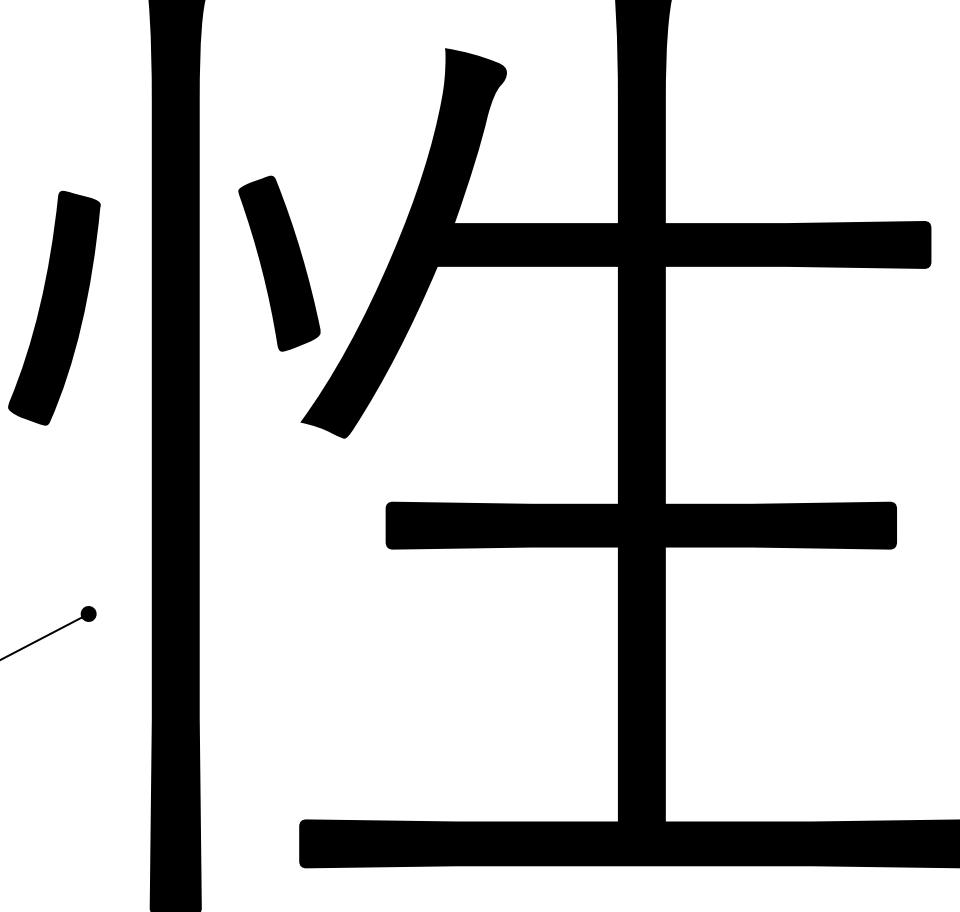
マズローの5大欲求



性の漢字の
意味

りっしんべん

つまり、こころ
が



とは？

せい

いきる

うまれる

いきいきいきる

家庭での性教育

- 性についてオープンに話す、タブー視しない
逃げない、ごまかさない、質問されたときはチャンス
わからないときは先延ばしにしない

絵本は有効

ドラマの中にも有害情報は沢山、最近ではYou Tube

→おかしさを指摘する

- 子ども達の性発達や性教育に関心をもつ
- やっていけない、だめだ、脅しだけでは
何の効果も得られない→具体的にわかりやすく
- エロい、エッチにうろたえない
- 親自身のプライベートな話は・・・



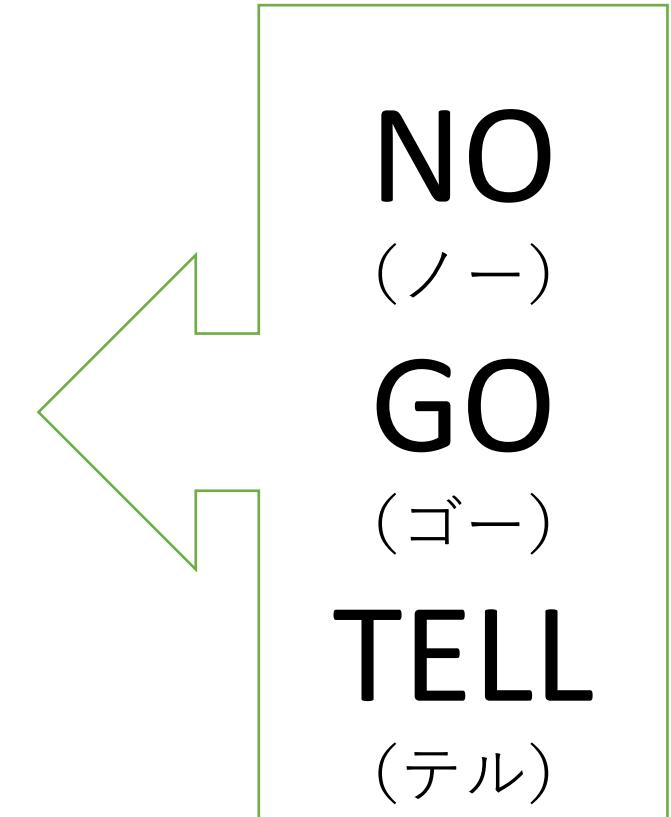
なぜ早くから、しっかりと教えるのか

- ・自分を大切にできる（自己肯定感を育てる）
 **自分を大切にできなければ、
 他の人（命）も大切にできない**
- ・性的自己決定ができる
 （自分が自分が自分で決められる）
- ・多様な生き方があることがわかる
- ・性的被害に遭わない（加害者にもならない）

知っていれば

性的被害にあいそうな時やあった時

→ その場から離れる誰かに相談できる



知識のない子は安全ではない！！

子どもの性被害の特徴

- ★何をされたか（よいことか、悪いことか）わからない
- ★恐怖や苦痛を感じる場合もあれば、優越感や特権、快感を感じる場合もある
- ★恐怖というより裏切りの体験もある
→グルーミング（手なづけ）による信用の乱用
- ★対処法を教えられていない、説明する言葉がない
- ★恥や自責感、不安から、だれにも言えない
→ケアがなされず、孤立することでのトラウマ化

子どもへの性的なグルーミング

「ターゲットを絞り込んで接近手段を確保し、被害者を孤立させ、被害者からの信頼を得てその関係性をコントロールし、隠蔽する」行為。

① リアルで近しい人からのグルーミング

(教師、コーチ、養護施設やNPOの職員、親戚、親の恋人など)

② それほど近しくない人からのグルーミング

(公園や公共施設で声をかけてきた人)

③ オンライン・グルーミング

(SNSなどネットを通じて知り合った人)



性的虐待を受けた子どもの行動上の問題

- ・自分を汚いと思う、大切にできない（自分を守れない）
 - ・愛情と性の混同（性的誘惑で相手の愛情確認
→ 施設、保護所の中での性的事件、事故）
 - ・過度の性的行動化
 - ・同性の友達を持ちにくい
 - ・身体化症状が多い
 - ・依存、薬物依存
- * その可能性が高くなる

「心と身体の主人公になるために」

～助産師の活動を通して見えてきたもの～

性教育全体像と順次性を考えるために（村瀬試案）

	A 体の発達・ 健康	B 心の発達	C 家庭や人間・関 係	D 社会的な面
保育園 ・幼稚園 (家庭)	体のはたらき・感覚 体のすばらしさ やさしく扱う 体の清潔	出生・出産への興味 どこからきたの? 性器（排尿器）のち がいへの興味 自分とひと（他人） のちがい	自己肯定的な育ち (タッチ・ハグ、コ ミュニケーション) 安心できる関 係・・・愛情 境界線（バウンダ リー）	地域と子ども 子どもを守り育て る地域のしきみ 性被害の防止 (被害を受けたら どうするか)

	A 体の発達・ 健康	B 心の発達	C 家庭や 人間・関係	D 社会的な面
小1～ 3	<p>体の主な部分のはたらきと、名称 たくみさ、重要さ (性器の名前)</p> <p>男女の体の共通したところ</p> <p>男女の体のちがったところ</p> <p>清潔、マナー、下着・ 排泄器・性器の保護 (柔らかく、傷つきやすい)</p>	<p>自分のからだを守る、 ひとを大切にする (プライベートなところの扱い方)</p> <p>異性への関心、いたずら、対立 加害、被害について</p> <p>性別意識の自覚 性に関する不安 (発達に関する不安)</p>	<p>いのちのつながり 親と自分のつながり 家族の役割、協力</p> <p>出生、出産を学ぶ (生まれる、という 観点から)</p> <p>さまざまな家庭の 存在(共働き、単親、 その他)</p>	<p>地域のようす、環境 性被害の防止と対応</p> <p>地域のどこになにがあるか 子どもはどうやって 守られているか 携帯、メール、インターネットのひろがりと性問題</p>
小4～ 6	<p>男女の体の機能のちがい、 月経</p> <p>生殖(性交、妊娠、出産) のはたらき 二次性徴</p> <p>精通(射精)(性差・個人差)</p>	<p>悩み 性的欲求、あこがれ</p>	<p>男女の感じ方・考え方の共通性、ちがい 異性や性への関心と 自立 希求・・・思春期</p>	

	A 体の発達・健康	B 心の発達	C 家庭や人間・関係	D 社会的な面
中学生	思春期のからだの変化（個人差） 生殖能力の発現 性の自己認識・イメージ マスターべーション（セルフプレジャー） 性に関する病（STD・エイズ） 性的指向（性的マイノリティ、多様性）	こころの変化、悩み（思春期の認知を深める） （コンプレックス、ひととの比較、自立と依存（反抗）、恋愛の感情、ジェンダーバイアスなど） 性行動のコントロールの必要性と可能性 相手の人生、健康への思いやり、責任 選択としてのNO-SEX	性的主体性、自己主張 （プライバシーを侵害しない、させない） 柏手の不安、悩みをどこまで受けとめられるか 月経困難症、子宮内膜症、男の子の性...)	性とメディア（情報選択） 性と法律（レイブ、セクシャルハラスメント、ストーカー） 性暴力 エイズと社会

	A 体の発達・健康	B 心の発達	C 家庭や人間・関係	D 社会的な面
高校生	避妊、中絶、性的行動の自制 リブロタクティブヘルス、 不妊の可手捌生 STD、エイズの予防、対応	対等性、相互性など 関係性について 性的欲求とはなにか	問題解決のために (性の人間関係) 交渉する力 …対相手、対社会 交渉する方法 …ネゴシエーションス キル→ 性的同意 親になるとは（育てる とは） 結婚・家族の形成、 シングルライフ（ライ フス スタイルの多様性）	メディアリテラシー (デートDV) 性と芸術、文学 性と社会（エイズなど） 買売春について（性産業、 商品化・・・） 性の多様性と人権 リブログクティブヘルス サービスはどうなっている か（どこになにがある か） 社会におけるセクシュアルハラスメント、性犯罪

※性的同意とは・・相手と対等、平等であり、その中の合意、納得しているか

4つの同意からなる。1、相手 2、時(今は嫌) 3、場所 (ここでは嫌) 4、方法 (避妊する、しない)

2018年8月 大学生有志が作成したものがインターネットからダウンロードできる。「性的同意」で検索

文科省「生命（いのち）の安全教育」を充実させるために

2023年度から全ての公立学校で実施されている
「生命（いのち）の安全教育」という教育プログラム。
これを、**人権を中心**とした性暴力と安全に関する学び
の機会にしていくことを目指し、共に学び合いたい。

「せっかくやるならいいものに」という思いを伝え
たい。

<p>絵本 「あっそうなんだ！わたしのから だ」</p>	<p>「生命（いのち）の安全教育」スラ イド (幼児期)</p>
--------------------------------------	--

<p>からだのしくみ、性器の名称などに触れている</p> <p>● 基本的な性の知識を踏まえる</p> <p>じぶんだけがみたりさわったりしているところ</p> <p>● 「からだの権利」という捉え方</p> <p>性暴力、暴力の例がリアルで豊富</p> <p>あなたはわるくないよ</p>	<p>性に関する知識にはまったく触れていない</p> <p>● 性の知識なしの性の安全教育</p> <p>じぶんだけがだいじなところ</p> <p>● 「心がけ」「心がまえ」という捉え方</p> <p>同じイラストの流用、パターン貧弱</p> <p>記述無し</p>
---	---



生命（いのち）の安全教育動画教
材 <https://youtu.be/EHlygZz7WjE>



♥ 性器は、自分で清潔に
トイレでの排尿・排便（男子と女子の方法）
シャワーで、優しくていねいに洗う方法
♥ 男子の精巣は傷つきやすいから、大切に

♥ 自分のからだは自分のもの

出前性教育で伝える
「生きるために大切なこと」

①アイタッチング

②やさしいタッチング

③食 育

「性の学習」とは、こころと身体がいきいきと
生きていくために必要な健康教育

まとめ

生きるために大切なこと その1

アイタッチング

快い会話(目を見て、尻上がり言葉)

→ フワフワ言葉

自分コミュニケーション能力

会話のキャッチボール

相手の気持ちを無視したり、踏みにじってないか？

気持ちを削いでないか？(尻下がり言葉)

→ チクチク言葉

生きるために大切なこと その2

やさしいタッチング

「ありがとう」「気持ちがいい」 → イエスの反応

いやなタッチング

「イヤ！」「しないで！」 → ノーの反応

自己決定権

自己肯定感が育つ

自分の気持ちを決め、相手に伝える力

ボンディング（絆作り）

	活 動	ケア内容	実 践
出生直後	パパママレッスンでの講話	カンガルーケア	触る・目を合わせる・乳房への吸てつ
乳幼児期	ママも赤ちゃんも幸せマッサージ	ベビーマッサージ	ちょこっとベビーマッサージ
学童期	1/2成人式・二次性徴(心と体の発達)	ハグ	じゃれつき遊び・おんぶ・抱っこ
思春期	心と体の主人公になろう	優しいタッチング ハグ・握手などのロールプレイング	個人相談時は手・足のオイルマッサージ
青年期	パパママレッスンでの講話	パートナーとのオイルマッサージ・乳房マッサージ・背中のリンパマッサージ	心と体のとっておきのふれあい(性交について)
壮年期	幸年期にしよう。すてきなパートナーシップ	性交痛にゼリーやオイルの活用	男性・女性更年期障害
老年期	豊かな生き方・すてきな死に方	ハンドマッサージ	認知症予防と悪化防止

食育で大切なこと

- A) 脳を育てる → 二次性徴につながる
- B) コミュニケーションを高める
- C) 体温を保ち、免疫を高める

個食 → 弧食にしないこと！

女の子の3大悩み

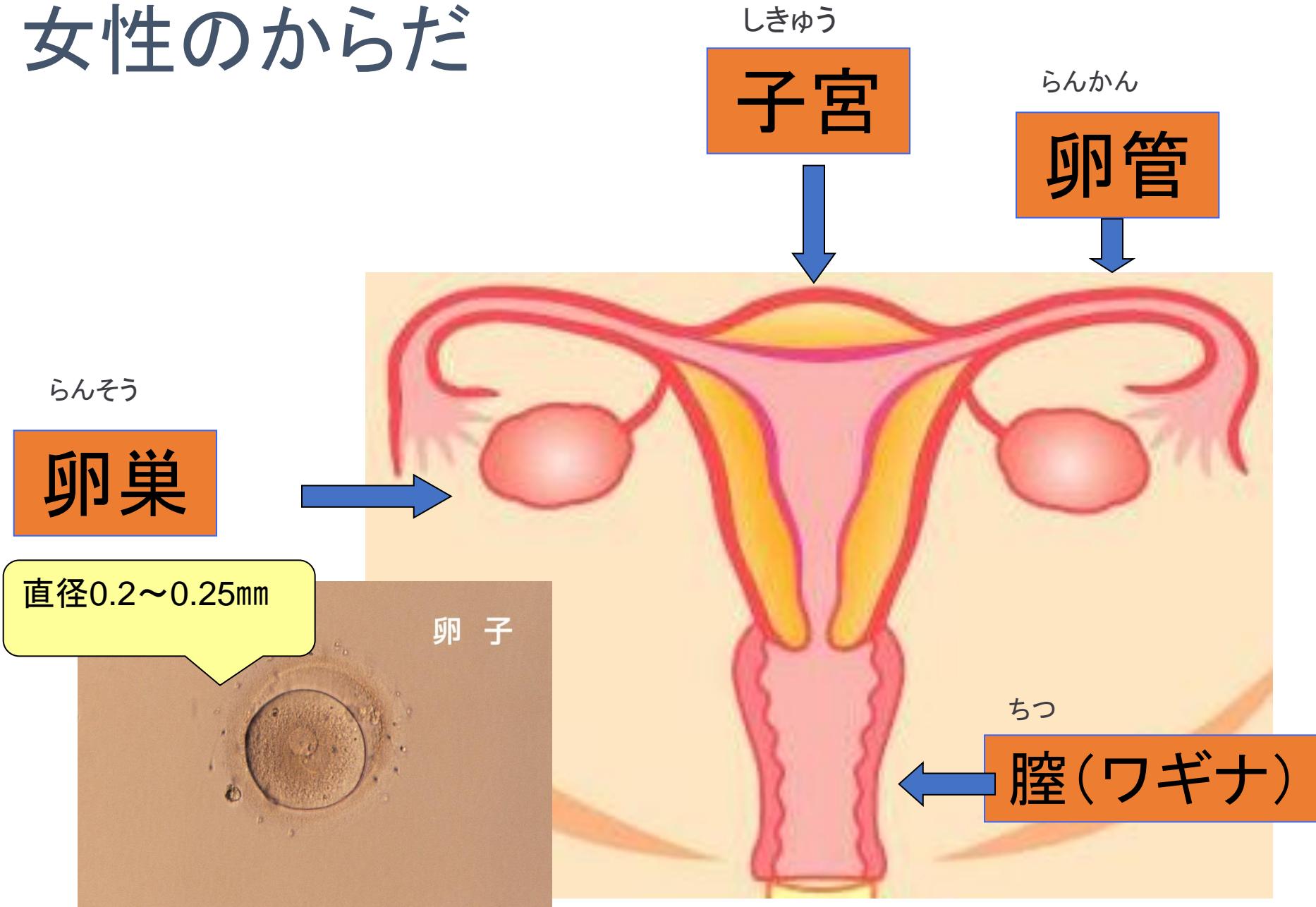
1 月経・妊娠・出産

2 性感染症

3 同性、異性との付き合い方



女性のからだ

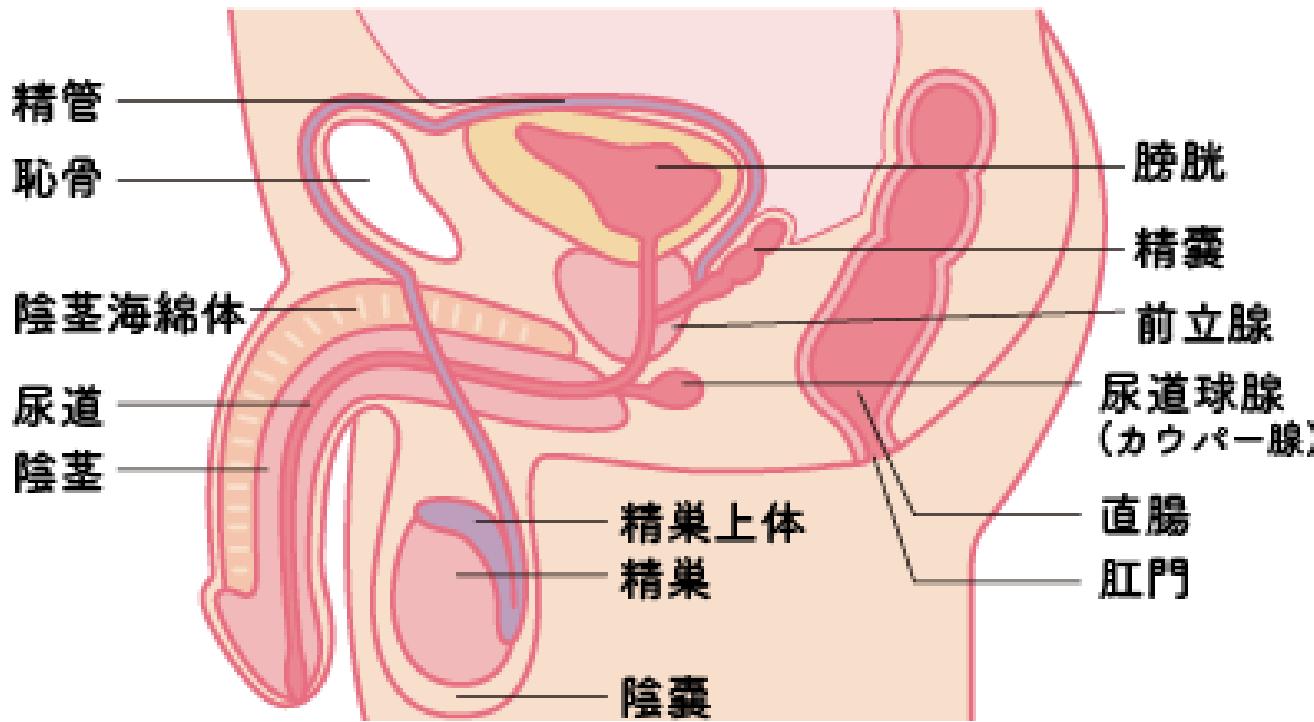


男の子の3大悩み

- 1 包茎のこと
- 2 マスターべーション
- 3 ペニスの色、形



男性器の名称と注意点



1. ブリーフよりトランクスをはく
2. ペニスには優しくさわる(床オナ禁止)
3. あたためるな
4. 膝の上のパソコン操作はしない
5. タバコは吸わない
6. アダルトビデオで勉強しない

性教育の必要性

心と身体の主人公となれる
よう、科学、人権、自立、
共生の性の学習が生きる力
になる

心と身体の主人公になろう

性教育

心と身体がいきいきするために学ぶ

性の学習

心と身体が病気にならないための健康教育
自分のために、ひとりかどりが学んで行動が変化するための
学習

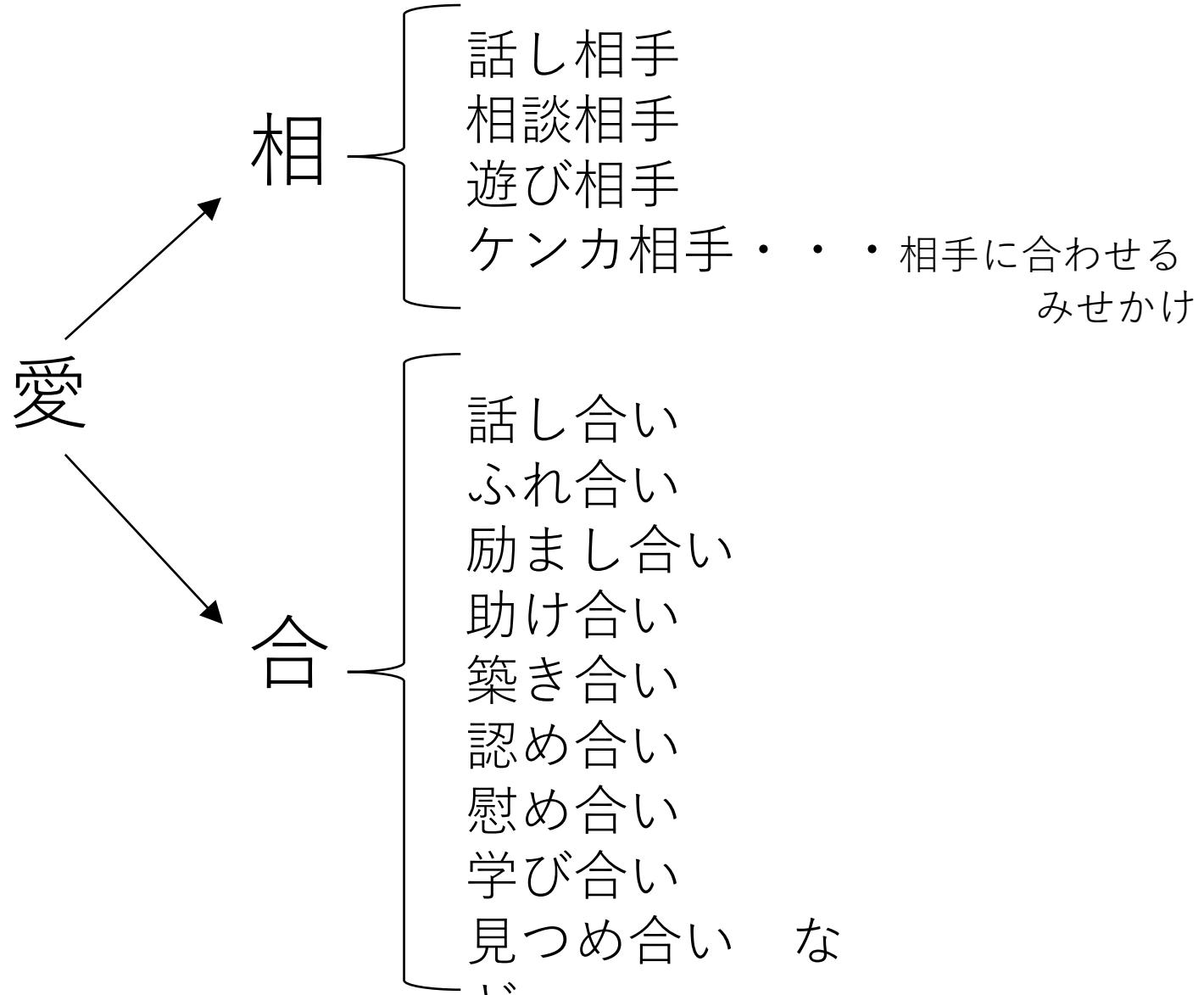
SEX
(セックス)

男と女に分けるが語源。日本ではSEXは性交（外来語）

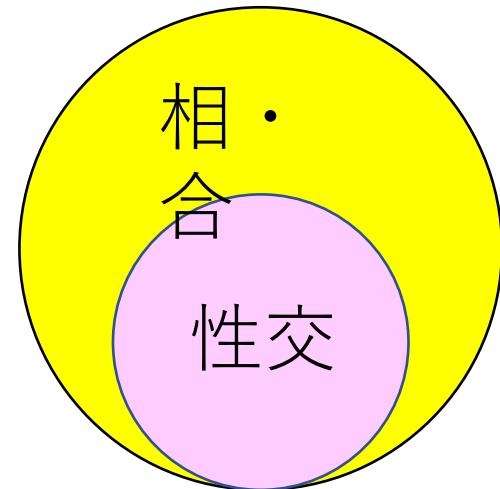
性交

ふれあいがどんどん深くなっていく
プライベート-partsの挿入だけでなく、優しい温かいふれあい
(交尾とは動物が行う行為)。
人間としてとっておきの豊かなふれあい
心と身体が交わることが性交

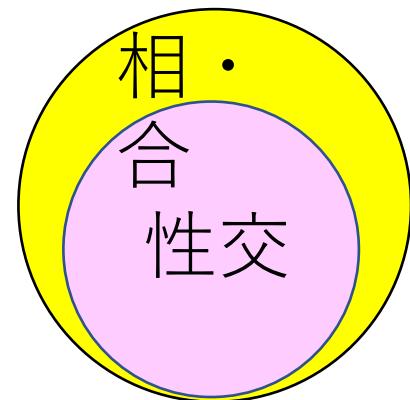
愛の具体的な形



豊かな愛



貧弱な愛



三つのセックス観から見えるもの

セックス観は、性に対する意識から、次の三つに分けられるとしています。

(山本直英氏)

①生≠性のとき

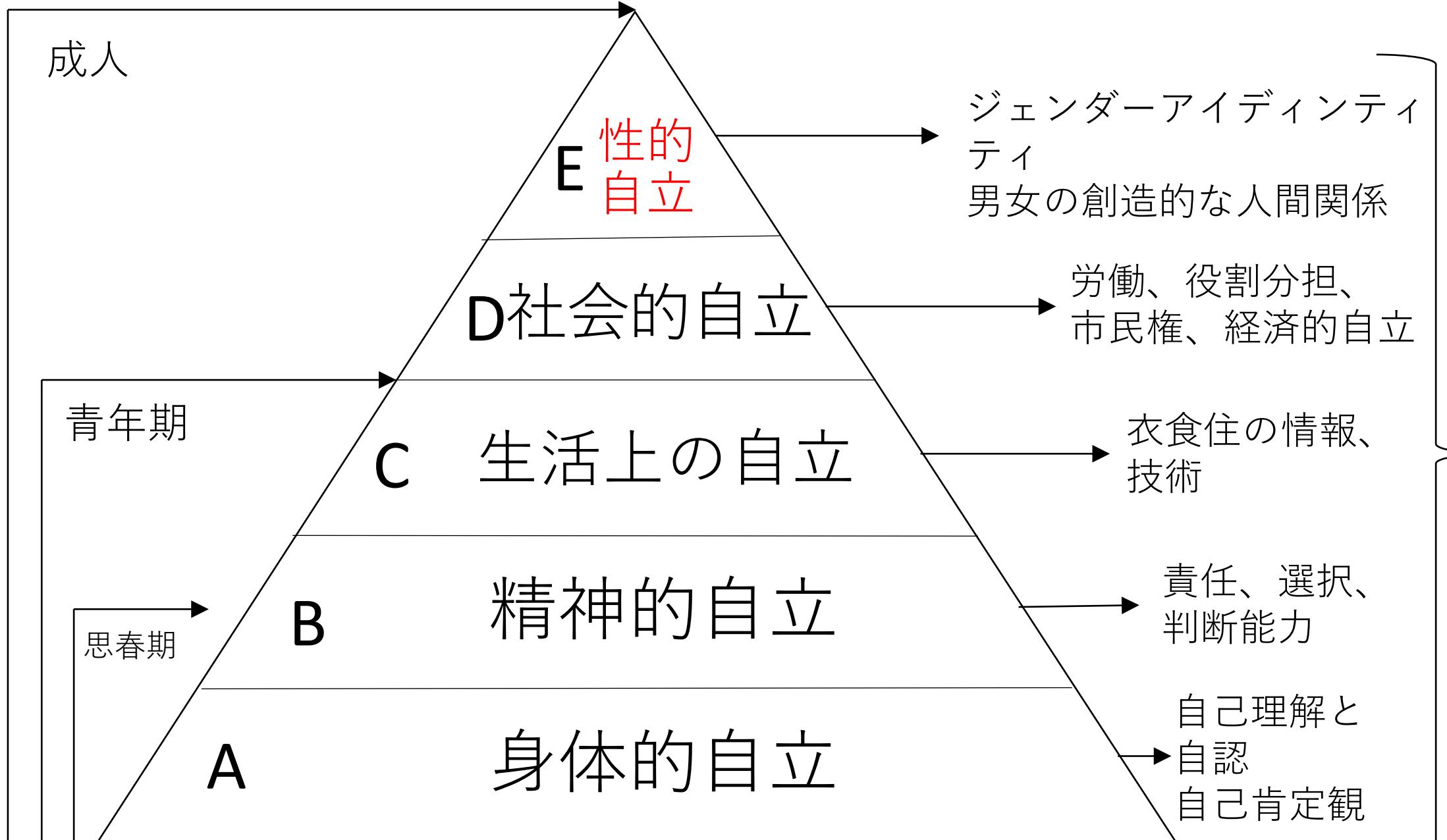
- 性が人間と離れている。
- 人間を語ることができますが、性を語らないか、語れない。
- 性を語るときには、ワイセツなテーマになりやすい。

②生>性のとき

- ①よりも、性を人間に結びつけている。
- しかし、人間の付属物という感じである。
- 性を語っても、不自然かぎごちない。

③生=性のとき

- 人間を語るように性も語れる。
- 性をぬきにしては、人間を語ることにはならない。
- 自然体で、さわやかに性を語れるし、聞ける。



性の自立

- 1) 自分のからだのことをよく理解している。
- 2) 異性のからだ. のことをよく理解している。
- 3) 自分の性に誇りを持っている。
- 4) 異性を敬愛することができる。
- 5) 一人で生きていく力がある。
- 6) 生きがいに結びつく人間関係をつくれる。
- 7) 人を傷つける性交をしない。
- 8) 性交の際に避妊ができる。
- 9) 自分の選択した性行動を人のせいにしない.
- 10) 男女共に妊娠・出産・子育てに関わることができる。



出前性教育による実践結果

<これまでの実践結果>

● C校 町ぐるみの性教育 (K町 人口約8千人)

町民全員に「赤ちゃんから、老人まで性教育が必要」との思いが伝わり、受け入れられた。こちらも学校では、総合学習として取り入れられた。

● B校 エイズ教育からの広がり (N町 人口約9千人)

N町がエイズ教育指定を受け、1校だけに留まらず、小中高、教師、PTA、地域にまで広がり素晴らしい啓発活動が実践された。中学校では、総合学習として取り入れられ、「心と身体の主人公になろう」の講演は転勤先の学校からも依頼を受けている。

● A校 年1回講演のみ (F町 人口約1万2千人)

生徒の学校生活の乱れを感じる。家庭日常生活、基本的な生活習慣が出来ていないと感じられる。

<アンケート結果より>

生徒たちは多くは、数回の学習、親と一緒に「性の学習」を受けることを望んでいる。

性に対しての二極分化にある双方の生徒たちが性に対する意識の変化がみられ「自分の身体と心を大切にしたい」との思いや、毎日の生活で何が大切な自ら考え気づくことができている。段階を経て、これから行動まで具体的に記載している。個別相談を受けたいとのメッセージも多い。

学習し知識を得る → 意識の変容 → 自分の脳で考える → 行動の変容

性の
健康教育

今後の課題

1、行政との連携

市町村合併により、性教育についての必要性が良い方向へ進むためのリーダーシップ

- ・行政としての取り組みの必要性（心と身体の健康づくり・・・健康教育としての実施を望む）
- ・保健師に地域と対象者とのコーディネーター（企画、運営、実施へのチーム作り・・・財政面を含む）
- ・性教育者としてデビュー、思春期担当1名（データを上手に使い、情報を提供する）

2、学校との連携

- ・医療従事者（助産師、産婦人科医など）は健康の観点から性教育を普及させようとブレない活動をしている。

教育者である管轄の文部科学省は政治的に左右されやすく、教育観点から歯止め規定がまだまだ続いている、中学校の保健体育でも「性交」を語ってはいけないとなっている。

そこで、出前講座の医療関係者（助産師、産婦人科医など）は学校側に了解を得た上で、大切な内容として、「性交」を伝えている。

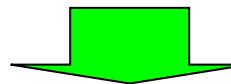
「性交」をどう伝えるかが、今後の必要な課題だと思っていま

ボンディング（絆作り） 乳幼児から老年期までのボンディング

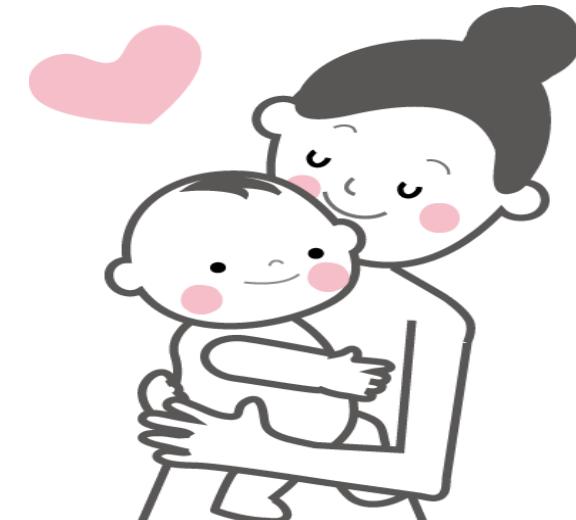
	活動	ケア内容	実践
出生直後	パパママレッスンでの講話 産後ケア、赤ちゃん訪問	カンガルーケア、 乳房マッサージ、 全身リンパマッサージ	触る、目を合わせる、 乳房への吸てつ
乳幼児期	ママも赤ちゃんも 幸せマッサージ	ベビーマッサージ 乳幼児の性	ちょこっとベビーマッサージ。 泣いたらやめる。 笑顔の反応で時間を徐々に長く
学童期	1/2成人式 二次性徴(心と体の発達)	ハグ 握手	じゃれつき遊び、おんぶ、 抱っこ
思春期	心と体の主人公になろう プレコンセプションケア	優しいタッチング、ハグ、 握手などのロールプレイング	個人相談時は手・足のオイル マッサージ。フォークダンスの勧め
青年期	大学生。企業 パパママレッスンでの講話	パートナーとのオイル マッサージ・乳房マッサージ 背中のリンパマッサージ	精子と卵子が危ない。妊活 心と体のとっておきのふれあい (性交について)
壮年期	幸年期にしよう、すてきな パートナーシップ	性交痛にゼリーや オイルの活用	更年期障害に関する 熟年離婚について
老年期	豊かな生き方・素敵死に 老人の性	手、背中、足部マッサージ タクテールケア、 ユマニチュード	認知症予防と悪化防止、 介護の中の自己決定 介護者、家族、本人の健康作り

☆ボンディングの実施時の留意点☆

1. ケースの性の発達をチェックする。
2. 信頼関係の成立（ラポールの確立）ができていること。
3. オイルマッサージについての効果を伝える。
4. プライベート-partsを守り、大切にする。
5. ケースの自己決定を尊重し、答えが「NO」である場合は、実施しない。
実施しなくとも関係は変わらないことを伝える。
6. 実施前後にバイタルチェック（検温・血圧測定）をし、実施の前後の結果を相手に伝える。
7. 相手の快・不快の反応を確かめながら実施する。
(実施中いつでも中止できる)。
8. 体感後の感想を伝え合う（評価）。
9. 格差社会・性の貧困の拡大を視野に入れて実践し、
目の前の事だけではない社会的問題に目を向ける。



安心・安全・同意・快樂



からだには「からだの権利」があります！

①からだのそれぞれの器官・パーツの名前や機能について、十分に学ぶことができます。

子どもの権利条約 第17条〔適切な情報へのアクセス〕28条〔教育への権利〕

②だれもが、自分のからだのどこを、どのようにふれるかを決めることができます。

同第16条〔プライバシー・通信・名誉の保護〕

③からだは自分だけのものであり、だれかが勝手にさわることはゆるされません。

同第6条〔生命への権利、生存・発達の確保〕

④からだが清潔に保たれて、けがや病気になったときには治療を受けることができます。

同第24条〔健康・医療への権利〕

⑤こころとからだに不安や心配があるときには、相談ができるところがあり、サポートを受けることができます。

同第24条〔健康・医療への権利〕

⑥⑤までのが実現できないときは、「やってください！」と主張することができます。

同第12条〔意見表明権〕

なぜ、包括的性教育が必要なのか。

純潔教育(結婚まではセックスをしないことを誓わせ管理する教育)



性の恐怖教育⇒リスク強調の教育(性病などの怖さを強調することで、性行動から若者を遠ざける取組み)



抑制的性教育(我が国の教育行政が基本的に進めてきた「寝た子を起こす」論というもの。)



包括的性教育(社会と子どもの事実・現実・真実から)

⇒世界の性教育の主流を形成

(「包括的性教育」 浅井春夫氏)

【包括的性教育】とはなにか？

- 科学的に正確であること
- 徐々に進展すること
- 年齢・成長に即していること
- カリキュラムベースであること
- 包括的であること
- 人権的アプローチに基づいていること
- ジェンダー平等を基盤にしていること
- 文化的関係と状況に適応させること
- 変化をもたらすこと
- 健康的な選択のためのライフスキルを発達させること

知的障がい者・発達障がい者に向けた 性教育の留意点

- ★ より早期に
- ★ より平易に
- ★ より具体的に(視覚的に)
- ★ より明瞭に
- ★ より端的に
- ★ より誇張して



発達段階に応じて繰り返し教え伝える

引用:七生養護学校裁判の勝訴時の判決文より

自立支援(貧困対策プロジェクトの立ち上げ)



生きるとは

- ◆一人(ひとり)が大切にされ、心と体が生き生きと育つ
- ◆人とすてきな関わりができること

豊かな生き方、死に向につながる

子ども虐待を 引き起こす要因

望まない妊娠
(予期せぬ妊娠)

親の要因

- 育児不安
(子育てがうまくいかないなどの不安によるストレスなど)
- 親自身の虐待された経験
(精神的なトラウマ)
- 病気・障害
(病気等の体調不良による養育力の低下)
- 精神的に不安な状態
(産後うつやアルコール依存など)

性的虐待



子どもの要因

子どもの虐待
発生の可能性大

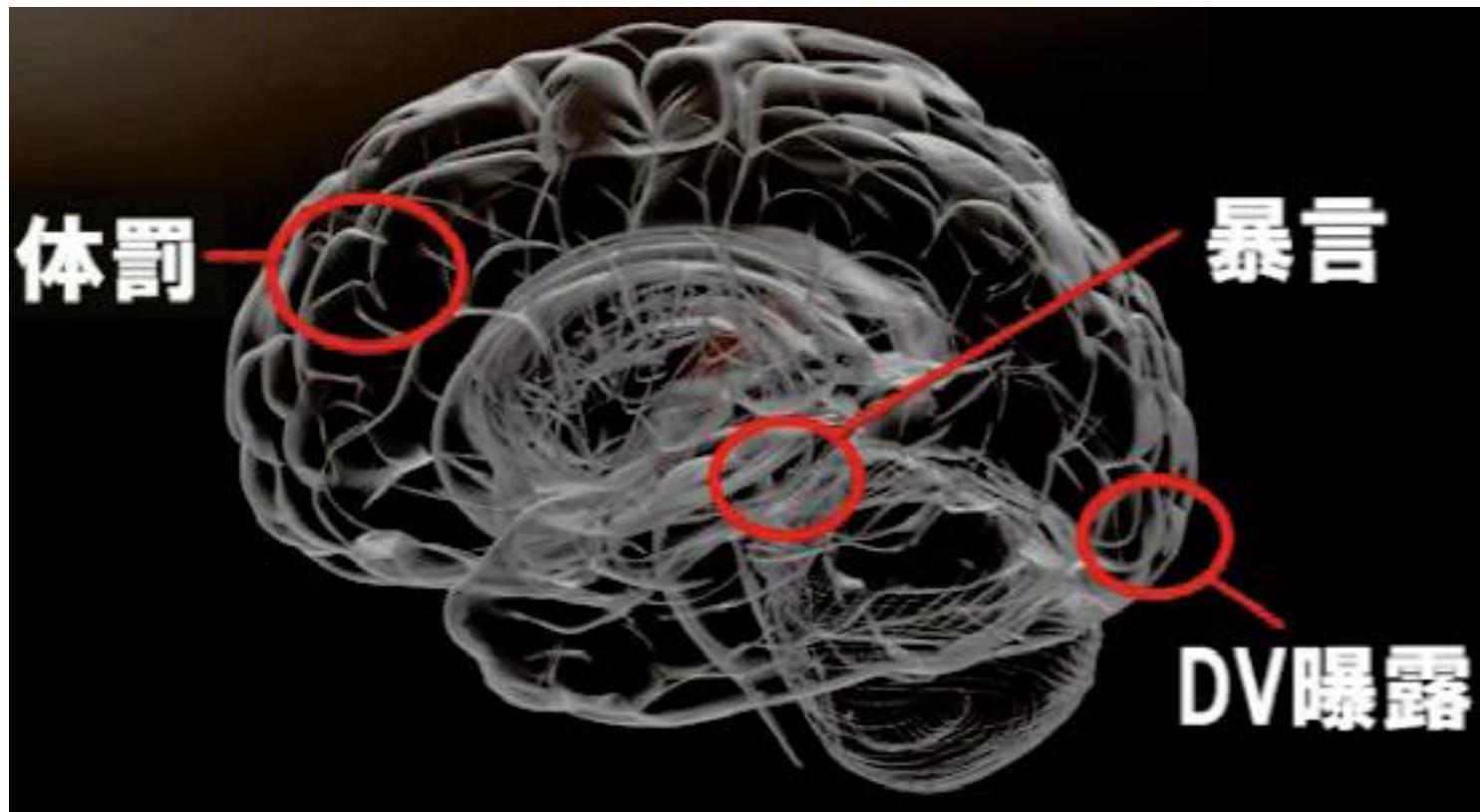
家族をとりまく要因

- 育てにくい子ども
(かんしゃくが激しい、こだわりが強い)
- 病気・障害
(先天異常の疾患、発達の遅れなど)

- 核家族化によるもの
(育児に関して相談できる人がいない)
- 不安定な夫婦間系
(夫婦げんかがたえない、
ドメスティックバイオレンス)
- 経済的不安
(不景気による収入低下・失業など)
- 地域からの孤立
(近所の人とのつき合いが薄い)



体罰や言葉での虐待が脳の発達に与える影響



■ 暴言虐待の脳への影響

上側頭回灰白質の容積が平均14.1%増加

■ 激しい体罰の脳への影響

右前頭前野内側部の容積が平均19.1%減少

■ 両親のDV 目撃による脳への影響

視覚野の容積が平均16%減少

ベビーマッサージ

<効果>

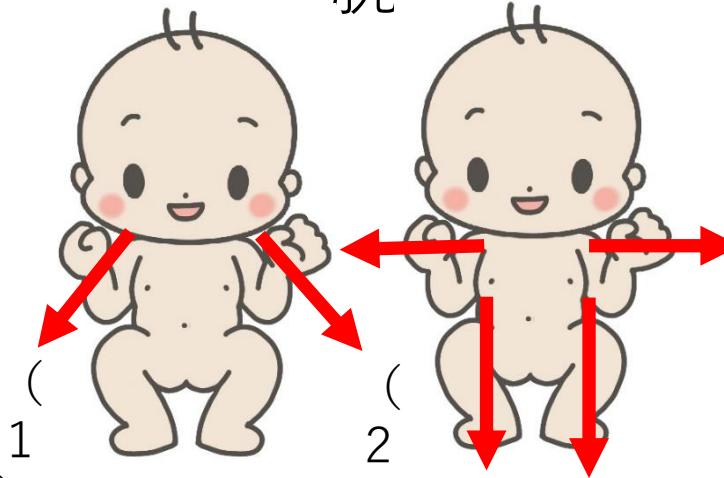
肌に触れることで、脳からオキシトシン（幸せホルモン）の分泌が始まり、穏やかな睡眠にもつながる。

<ポイント>

赤ちゃんの目を見てやる。
関係性を作る。
泣いたらやめる。

自己決定能力を育てる。
自己肯定感を育てる。
(愛着形成)

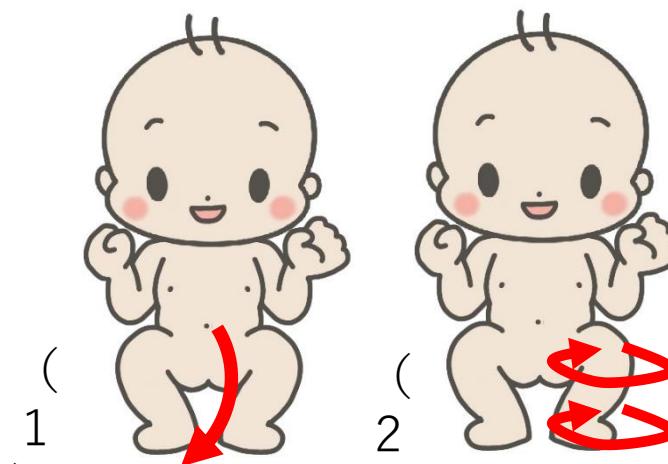
腕



) (1) 胸一肩一腕に沿って、両手でなでおろします。

(2) 同様に胸一肩一腕に沿ってマッサージしながら、赤ちゃんの両腕を真横に広げます（できるようであれば、マッサージしながらバンザイもさせてみましょう）。最後に、両手で肩から足にかけてなでおろします。

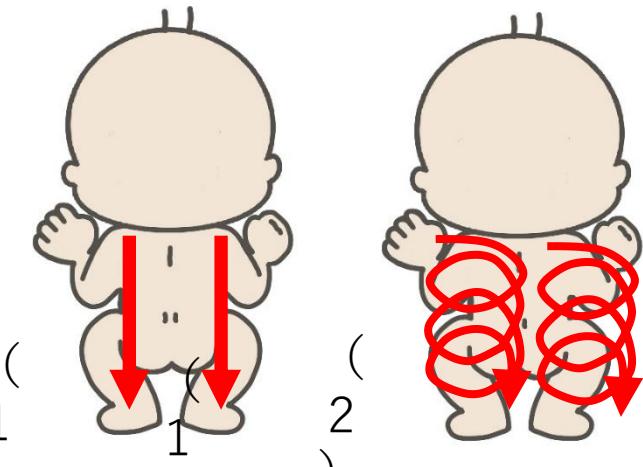
脚



) (1) 赤ちゃんの足を、脚の付け根から足首まで、左右の手で交互になでおろします。<左右>

(2) 左手で足首を持ち、右手で太ももをもむようにクルクルとマッサージします。<左右>

背中



) (1) 赤ちゃんをうつぶせに。顔は横に向けにします。オイルをたっぷりと手のひらにとり、肩から腰にかけて両手でなでおろします。

(2) 手をカップのように丸め、横にして背中に置いて、手の重みだけでトントントンと早いテンポで上から下に軽く叩いていきます。

認知症予防ケア

タクティールケアとは

タクティール®とは、ラテン語の「タクティリス（Taktillis）」に由来する言葉で、「触れる」という意味があります。その意味が示すように、手を使って10分間程度、相手の背中や手足を「押す」のではなく、やわらかく包み込むように触れるのがタクティール®ケアです。このケアは、私たち自身の手の持つ力を再認識させてくれます。

タクティールケアの始まり

タクティール®ケアは、スウェーデン発祥のタッチケアです。

1960年代、未熟児ケアを担当していた看護師によって始まりました。看護師はその手を用いて、母親が幼い我が子を慈しむように乳児の小さな体を母親に代わって毎日優しく触れました。その結果、体温は安定し、体重の増加がみられたのです。看護師は触れることが有効性を確信し、経験に基づいてタクティールメソードを作りました。

それをもとに日本スウェーデン福祉研究所は、乳児から高齢者まで、健康な方から看護や介護の必要な方まで様々な場面で幅広く活用できるタクティール®ケアを紹介しています。

- ・ユマニチュード（Humanitude）とは、フランス語で「人間らしさ」を意味する言葉で、「人とは何か」「ケアをする人とは何か」という哲学的な考え方がその基盤になっています。
- ・実施する際の考え方としては、「ケアされる人」と「ケアする人」という一方的なものではなく、「関係」や「絆」を中心とらえます。
- ・認知症ケアの技術として知られており、言葉や身振り、目線など、あらゆる感覚を活用したコミュニケーション法を軸としています。

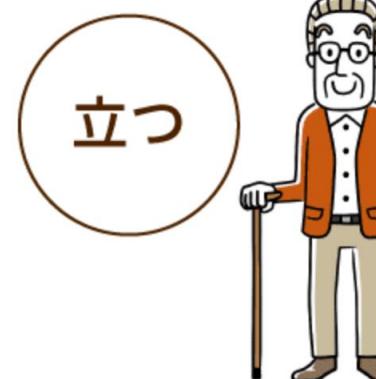
ユマニチュードの基本的な概念

同じ高さから目線を合わせることで平等な関係性であることを、正面から見つめることで相手への誠実さを伝えることができます。



話すときは、ゆっくりと穏やかに話すように心がけます。

愛しい人に触れるときのように、優しく包み込むような動作で触りましょう。



立つことによって「自分がここに存在している」という自覚をより強く持つことができます。

これからの父親像

1. 家庭を顧みず仕事一筋みたいな価値観の父親は今後廃れていくだろう
2. 男性も仕事と育児の両立を、苦しみながらもやっていくしかない
3. 職場の男性育休が普通化し、「イクメン」という言葉が消滅するとき、本当の父親像が生まれるだろう
4. それはおそらく、昭和の威厳を保つ「家父長型の親父」ではなく、また平成の「優しく、悩めるイクメン」でもなく、新しい時代の、しなやかな父性を携えた父親の姿になるはず
5. 子どもや家庭の幸せ、誰しもが活躍できる社会の最適化にとっても、まずは男性が意識や働き方を変えることが大事

特定非営利活動法人Fathering Japan（ファザーリング・ジャパン）

代表 安藤哲也 2006年11月設立

「良い父親」でなく「笑っている父親」になろうなど斬新なモットーから、お父さんの子育てを支援する事業を各種展開し豊かな地域社会の実現に寄与することを目的とする。

引用 Fathering Japanサイトより

『ひとりの子どもに7人の親を！！』



参加してくださった方へのメッセージ

- 1.自分の人生を幸せにするために学び続け、進化する実践をしてほしい。
- 2.生涯の「性」を語れるようにブラッシュアップして、すべての人に豊かな性と生を伝えて欲しい。
- 3.ネットワーク作り（医療、福祉、教育機関、警察、地域）の大切さを実感して欲しい。
- 4.「死にたい」は「生きたい」との思いを受け取り、命の重みをつなぐ手助けとして欲しい。
(あなたは一人じゃない。私はあなたの応援団!)



あっ! うなんだ! 性と生
—幼児・小学生そしておとなへ 大型本—
2014/4/1
浅井 春夫 (著), 北山 ひと美 (著), 中野 久恵 (著)
大型本 2,200円 (税込)



あっ! うんだ! わたしのからだ 幼児に語る性
と生 单行本 – 2021/4/22
[中野久恵](#) (著), [星野恵](#) (著), [勝部真規子](#) (イラスト)
単行本 1,980円 (税込)



乳幼児期の性教育ハンドブック
単行本（ソフトカバー）－2021/4/3
[“人間と性”教育研究協議会乳幼児の性と性教育サークル](#)（著），単行本 2,200円（税込）



性と生の支援 性の悩みやとまどいにむきあう (発達障害の子の子育て相談) 単行本 – 2016/9/25
[人間と性教育研究協議会障害児・者サークル](#)（著），[伊藤修毅](#)（編集） 単行本 1,650円（税込）



「小児性愛」という病 —それは愛ではない 単行本
(ソフトカバー) – 2019/11/20
齐藤 章佳 (著)
単行本 1,650円(税込)



射精責任 単行本 – 2023/7/21
ガブリエル・ブレア (原著), 村井 理子 (翻訳)
単行本 2,200円(税込)

今後の活動

- 現在のレインボーさんばハウスの相談所から、地域で育てていく 命の伝承館を作りたい。
- 体験学習が出来たり、その人が持っている生きる力のサポートをしたい。

中村まり子

携帯番号：090-8394-5533

メールアドレス：ringo4465@gmail.com